

令和2年度入学生1年次開講

シラバス

共通科目

令和2年度開講授業科目一覧表

共通科目

こ と ば と 人 間	武 内 康 則	6P
美 術 を み る 目	安 井 良 尚	8P
音 楽 と は 何 か	柚 木 たまみ	10P
近 江 学 入 門	秋 山 元 秀	12P
国 際 地 理	秋 山 元 秀	14P
テ レ ビ 映 像 と 現 代 社 会	三 上 正 弘	16P
教 育 を 考 え る	笹 倉 千佳弘	18P
心 理 学	林 幸 範	20P
心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア	神 村 有 紀	22P
生 活 文 化 論	森 治 子	24P
子 ど も 社 会	笹 倉 千佳弘	26P
現 代 社 会 と 福 祉	松 木 宏 史	28P
日 本 国 憲 法	渡 邊 暁 彦	30P
現 代 の 健 康	堀 池 喜八郎	32P
数 の 不 思 議	久 米 央 也	34P
デ ー タ 分 析 入 門	小 山 内 幸 治	36P
日 本 語 I	青 野 潤 子	38P
日 本 語 II	青 野 潤 子	40P
英 語 I	萩 澤 大 輝	42P
英 語 I	内 田 幸 代	44P
英 語 II	萩 澤 大 輝	46P
英 語 II	内 田 幸 代	48P
フ ラ ン ス 語 I	柴 田 秀 樹	50P
フ ラ ン ス 語 II	柴 田 秀 樹	52P
中 国 語 I	李 景 芳	54P
中 国 語 II	李 景 芳	56P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (食 健 康・ ラ イ フ)	山 村 聡	58P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (ビ ジ コ ミ)	山 村 聡	60P
ス ポ ー ツ 実 技 (テ ニ ス) (食 健 康・ ラ イ フ・ ビ ジ コ ミ)	山 中 博 史	62P
ス ポ ー ツ 実 技 (フ ィ ッ ト ネ ス) (食 健 康・ ラ イ フ・ ビ ジ コ ミ)	北 尾 岳 夫	64P
ス ポ ー ツ 実 技 (バ レ ー) (食 健 康・ ラ イ フ・ ビ ジ コ ミ)	山 村 聡	66P
ス ポ ー ツ 実 技 (ボ ー リ ン グ & ゴ ル フ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博 史	68P
ス ポ ー ツ 実 技 (キ ャ ン プ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博 史	70P
ス ポ ー ツ 実 技 (ス ノ ー ス ポ ー ツ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博 史	72P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (食 健 康)	清 水 まゆみ 他	74P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (製 菓・ 製 パ ン / ラ イ フ)	清 水 まゆみ 他	76P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (幼 教)	柚 木 たまみ 他	78P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (ビ ジ コ ミ)	江 見 和 明 他	80P

生 活 文 化 入 門	中 平 真 由 巳 清 水 ま ゆ み 原 井 知 子 石 岡 ひ と み 山 村 梨 花 河	82P
保 育 音 楽 入 門	柚 木 た ま み 松 井 典 子 奥 戸 雅 子 寺 西 裕 子	84P
ビ ジ ネ ス 入 門	小 山 内 幸 治 沖 山 圭 子 堀 池 喜 八 郎 江 見 和 明 若 生 眞 理 子 中 村 吉 弘	86P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ことばと人間	武内 康則(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Human and Language							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ことばに関する基礎的知識の学習を通じて、「ことば」と「人間」と「社会」との関係について理解する。							
授業の内容 私たちは「ことば」というものを普段何気なく使っているが、そこには大変面白い現象・事実がたくさん観察される。国語や英語の時間に習った「文法」とは一味違う、ことばの世界の奥深さを学んでみよう。 毎回の授業後、テーマに関連したコメントシートを提出する。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。 配付したプリントはすべてファイルにとじて、レポート執筆に備えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回提出してもらったコメントシートからピックアップしたものを、翌週の授業で紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業後に提出するコメントシート				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容からテーマをひとつ選び、レポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション：ことばとは何か？	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
2 /	言語と方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
3 /	ことばと性差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
4 /	ことばと年齢差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
5 /	地域方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
6 /	ことばの機能	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
7 /	ことばの変化	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
8 /	ことばと場面・状況	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
9 /	ことばと文化・世界観	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
10 /	比喩表現・ことわざ・慣用句	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
11 /	日本語と世界の言語1	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
12 /	日本語と世界の言語2	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
13 /	消滅の危機に瀕したことば	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
14 /	レポート作成について	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
15 /	まとめ・レポート提出	武内	レポートの推敲	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
美術をみる目	安井 良尚(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Appreciation of Arts							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・造形表現活動を考察することにより美術という作品を見る手がかりを習得する。 ・美術鑑賞に欠かせない、主題、形式、材質、技法、様式などの観点を理解できる。							
授業の内容 この授業では、写真や映像をもとに古今東西の美術作品を鑑賞し、美術を見るための観点を学びながら、簡単なワークの中で、美とはなんであるかを考察する。 さらに、授業期間中に自ら展覧会に行く機会を持ち、作品と対話し鑑賞した内容をレポートにまとめる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	各自が行う美術館での作品の鑑賞レポート、毎回の授業の美術研究ノートの作成だけでなく、授業中のワークへの積極的関与も重要です。 未知なるもの、知らなかったことを学ぶことは楽しいことです。積極的に自分の世界を広げましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の授業ノート、美展覧会レポートを評価し返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度と提出物について評価する				
	授業内試験	10	授業最終日の小テストにおいて授業の理解度を評価する				
	定期試験						
	レポート	10	レポートにおける着眼点と独自性を評価する				
	その他	50	授業内で配付するプリントでつくる研究ノートの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yoyasui.23@gmail.com (安井)						
教員相互授業参観	9、10回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	「イントロダクション」授業概要、美術研究 ノートの使い方について	安井	講義	美術について、今までに習ったことや知っていることを整理する	90
2 /	「遠近法について」立方体を描いてみる	安井	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	「遠近法から逃れる」ピカソとキュビズム	安井	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	「印象派の表現」光を表現する	安井	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	「浮世絵版画」浮世絵と版画	安井	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	「マティスの切り絵」地と図の関係	安井	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	「シュールな世界」想像の世界	安井	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	「抽象絵画とは」カンディンスキーとモンド リアン	安井	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	「絵の具のもつ力」ポロックの時間	安井	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	「デュシャンの<泉>」考え方を学ぶ	安井	講義	講義内容をまとめる	90
11 /	「<もの>を通して観る」ストーリーを考える	安井	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	「ポップアート」日常と美術	安井	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	「日本の美術」琳派から現代	安井	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	「現代美術の視点」	安井	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	「授業を振り返って」小テスト、美術研究 ノートの提出	安井	講義、小テスト	ノートを完成させる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽とは何か	柚木たまみ(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Consideration to Music							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・音楽とは何かについて考え、音楽と人間とのつながりを知る。 ・音楽のルーツと歴史について知り、様々な音楽のジャンルに触れる。 ・音楽の持つ「力」を学ぶ。							
授業の内容 音楽とは何であるか。それは、人間にとってなくてはならないものである。 授業では、毎回異なったテーマで音楽について知り、考えていく。目には見えない音楽というものを、実際に私たちはどのように感じているのかを改めて意識してほしい。 そして、教員の、長年にわたる演奏家として、教育者として、また音楽療法士としての経験を生かした講義内容とする。 レポートを通して、質問や感想等を伝えてもらい、また、学生相互の意見交換もしていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	音楽経験の有無は問いません。 自分の音楽に対する既知の知識と思いを、毎回の授業参加時のレポート内容で反映してください。 そして、さらに新しい音楽についての視点を見つけてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回提出してもらった小レポートの内容について、受講生全体で共有できるように授業内で質問等への回答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	45	毎回授業の最後に小レポートを書く				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	45	授業最終回到提示テーマによるレポートを作成する				
	その他	10	プレゼンテーションの機会に積極的な参加を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション(授業構成と取り組み方) 「音楽とは何か」(1) 自分にとっての音楽とは、生活の中の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	30
2 /	「音楽とは何か」(2) 音楽の定義と特性、様々な捉え方	柚木	講義	講義ノート作成	45
3 /	「音楽のルーツ」	柚木	講義	講義ノート作成	45
4 /	「時代と音楽」(1) 古代、中世の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
5 /	「時代と音楽」(2) バロック、古典派の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
6 /	「時代と音楽」(3) ロマン派、そして近現代の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
7 /	「声楽と器楽」	柚木	講義	講義ノート作成	45
8 /	「音楽と舞踊」	柚木	講義	講義ノート作成	45
9 /	「音楽と劇場」	柚木	講義	講義ノート作成	45
10 /	「西洋と日本」	柚木	講義	講義ノート作成	45
11 /	「世界の様々な音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーションについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備	60
12 /	「ポピュラー音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーション レポートのテーマについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備 レポート準備	120
13 /	「音楽療法」(1) 音楽療法とは その定義について	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
14 /	「音楽療法」(2) 音楽療法の様々な在り方	柚木	講義	講義レポート作成 レポート準備	90
15 /	まとめ	柚木	講義 レポートについてのアドバイス	講義レポート作成 レポート準備、作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
近江学入門	秋山 元秀(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・近江という土地がどのようにして生まれ、どのようにして現在の滋賀県になったかを理解し、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江ではぐくまれた多様な地域文化を知り、近江独特の地域性がどのようにして作られたかを理解し、身近な地域がその中でどのような位置を占めるか説明できるようになる。							
授業の内容 近江というのが古代日本に生まれた国の一つであることから始めて、その国がどのような性格の地域であったかを述べる。そしてその中でどのような産業が発達し、どのような文化が生まれたのか、それらが現在にどのように引き継がれて滋賀県になったのかを明らかにする。授業ではできるだけ映像や地図を使い、滋賀県のことをあまり知らない人でもわかりやすいように心がける。積極的に授業に参加してもらうためにアクティブ・ラーニングの手法を取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	個々のテーマについては授業中指示するが、全体的なものとしては以下のものを推薦する 『街道をゆく』司馬遼太郎シリーズの「1湖西のみち」「24近江散歩」(朝日文庫) 価格(本体600円～800円) 『近江山河抄』白洲正子(講談社文芸文庫) 価格(本体1100円)						
担当者からのメッセージ	毎回出席して授業に積極的に参加することが評価のポイントとして重要である。毎回の授業に際しては、授業内容や関連するテーマについてミニレポートを書かせる。それにまじめに取り組むことが大切である。またテーマをめぐってディスカッションやグループ学習をしてもらうが、この場合も積極的な発言をポイントとする。テーマに応じて実際に現地に出かけてフィールドワークを行なうためのガイダンスを行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ミニレポートに寄せられた質問や意見は次の時間に紹介する。長文のレポートは添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に対する積極的な態度を発言や討論の様子から評価する				
	授業内試験	40	授業中のミニテストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	総合的な問題の理解度をチェックする				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 事前にメールで要件と希望時間帯を知らせること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オウミ(近江・淡海) とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀) とは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
2 /	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
3 /	近江の特徴はどんなところだろうか?それを考えるための材料は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
4 /	近江の文化というとなんがある?たとえば芸能・お祭りなど	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
5 /	近江の産業というとなんがある?たとえばお米・魚など	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
6 /	「ふなずし」 食べたことがありますか? 「ふなずし」 ってどんな寿司?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
7 /	近江というとなんをイメージする?なんでもあげてみて?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
8 /	近江商人って何?聞いたことがありますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+グループ学習	授業で何が理解できたか振り返ること	90
9 /	滋賀県にはどんな町がある?知っている町をあげてみて	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
10 /	まず大津 大津はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
11 /	ひこにゃんは知ってますか?ひこにゃんのいる町彦根はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
12 /	大津・彦根以外に知っている町は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
13 /	滋賀県で観光で有名なところは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
14 /	滋賀県を案内するとしたらどこを推薦しますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
15 /	みんなの滋賀県おすすめは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
国際地理	秋山 元秀(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
International Geography							
資格等取得との関連		観光実務士資格の選択					
授業の到達目標 ・世界各地がどのような特徴をもち、それがどのように生まれてきたのかを、自然、歴史、民族、文化など、多様な側面から理解できるようにする。 ・現代世界の基本的な大地域区分とされるヨーロッパやアジア、アフリカなどが、どのようにして成立したのか、世界の文明圏の構造とあわせて理解できるようにする。 ・このような現代世界のなかで日本がどのような位置にあるか、共通するところと異なるところを分析し、一つの地域としての日本のありかたを考えられるようにする。							
授業の内容 最初に世界を地理的に見る視点について述べ、それを踏まえて世界各地がどのような特色をもっているか、とくに一定の範囲をもつ地域性が、どのような歴史的背景や文化的特色によって形成されているのかを述べる。個々の地域について述べる際には比較するという方法を重視する。またその地域が日本とどのようにかわり、これからどういう関係ができればよいかを考える。 あわせて現代世界がかかえる地域格差の問題や地域間・国家間の紛争などの問題の背景にある地理的要因についても触れていきたい。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。							
教科書	なし						
参考書	講義の中で各テーマごとに参考文献を紹介する 受講時にはどのようなものでもよいから世界地図（例えば中学の地理分野の地図帳）をもっていることが望ましい						
担当者からのメッセージ	基礎的な知識としては、高等学校で地理を履修していなくても、中学での社会科地理分野程度の学習で十分である。日常的に政治・経済に限らず、文化でもスポーツでも、現代世界で起こっている様々な出来事に関心をもってほしい。とくに新聞の国際欄、テレビやネットの国際ニュースに目を通すような習慣をつけてほしい。受講態度は講義中での発問に対する回答や、質問による積極性を評価する。毎回授業の最後に小テストを実施し、講義への理解度や意欲を見るようにする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回実施する小テストの結果や質問を次回に材料として取り上げ前回の講義を補う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中の積極的な発言や討論に対する態度を評価する				
	授業内試験	40	小テストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	全体を通じての理解度と課題への取り組み方を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 メールで事前に予約すること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	世界地図を眺めて：なぜ国際地理を学ぶのか	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
2 /	世界の東西南北：地域の多様性と共通性をど のように理解するか	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
3 /	アジアは一つか？：東洋と西洋という捉えか たは有効か	秋山	講義・小テストの実施 +グループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
4 /	東アジアと中華世界：中国・朝鮮・日本	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
5 /	東南アジアとインド世界：海洋アジアの交易 世界	秋山	講義・小テストの実施 +新聞調べ	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
6 /	中近東というとらえかた：文明の交流と衝突	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
7 /	ヨーロッパは一つか？：ローマ帝国からEU まで	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
8 /	地中海と北海：ヨーロッパの南北問題	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
9 /	東欧・中欧とバルカン世界：辺境地域の統合 と分断	秋山	講義・小テストの実施 +ニュースをみる	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
10 /	ロシアとシベリア：ユーラシアをまたぐ国家 形成	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
11 /	南北アメリカ・オーストラリア：移民によっ てつくられた新世界	秋山	講義・小テストの実施 +グループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
12 /	アメリカとカナダ：現代技術社会を生みだし た開拓精神と新興国家	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
13 /	ラテンアメリカ：もうひとつのアメリカ	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
14 /	アフリカ：その問題と将来性	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
15 /	国際化とグローバル化の中の世界と 日本	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義全体を見直し、定期試験 の準備をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
テレビ映像と現代社会	三上 正弘(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
TV picture in modern society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・わが国が国民に対する情報伝達サービスを今後どのように計画しているのかを理解できる。 ・過去65年間のテレビ映像が、国内外の歴史にどのような影響を及ぼしてきたかを評価できる。 ・ニュースの重要性と「正確な情報」の大切さを実例と共に認識できる。 ・ニュース・スポーツ・情報番組などの映像コンテンツを視聴し、それらがどのようにして制作されているかを理解できる。 ・テレビからインターネットへと変化する中で、人を傷つけないための表現方法などについて説明できる。 ・取材をすること・映像企画を考えることの素晴らしさと難しさを体験できる。 							
授業の内容 <p>授業ではまずテレビとインターネット双方を国民への情報伝達という視点で総合的に計画している国の考え方を判りやすく解説する。そのうえで、授業計画に従って、テレビ映像が国内外の政治・経済・文化にどのような影響を与えたかを実際の映像を見ながら振り返る。そしてテレビニュース、スポーツコンテンツ、情報番組、ドキュメンタリーなどについて制作方法やインターネット社会での変化について個別に考える。</p> <p>また「企画を立て取材をする」ことの楽しさと難しさを少しでも体験してもらうため、実際に映像企画書を書いてもらう。数多くの映像作品を見ながら、社会の動きや物事の本質を掴む能力がつかうように、判りやすい授業を目指す。</p>							
教科書	なし						
参考書	自作のレジュメを最初の授業で配付する						
担当者からのメッセージ	この授業を受けることで自然に世の中の動きに関心が高まることを期待している。テレビ・ネット・新聞などのメディアを日常的にチェックして、世の中の動きに敏感であってほしい。受講態度については各自に任せる。ただし学習意欲のある学生の邪魔になるような態度には毅然とした対応を取り、減点の対象とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートなどは授業冒頭で返却する。 その際、採点の基準などを説明し、より理解を深めたい。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	他の生徒に迷惑をかけるような場合は減点の対象とする				
	授業内試験	60	授業内で2回、まとめの試験を行う(30点×2回、中盤と後半)				
	定期試験						
	レポート	30	前半と中盤にそれぞれ簡単なレポートと「企画書」を提出してもらう				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける(気楽に質問してほしい) メールでも受け付ける その際は次の授業冒頭で説明する						
担当教員E-mail	neuilly626@outlook.jp(三上) neuilly.626.masa@ezweb.ne.jp(三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画				
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)
1 /	はじめに	三上	講義 自己紹介、15回の授業で皆さんに伝えたいことを説明する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
2 /	未来のテレビ	三上	講義 「次世代テレビ」や「テレビのネット配信」など、テレビの今後について解説する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
3 /	テレビ映像65年の歴史 I	三上	講義 日本社会とテレビ映像の関わりについて映像を見ながら振り返る	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
4 /	テレビ映像65年の歴史 II	三上	講義 戦後の世界とテレビ映像の関わりについて映像を見ながら振り返る	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
5 /	テレビニュース	三上	講義 テレビからネットへとニュースの変化について検証する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
6 /	スポーツコンテンツ	三上	講義 ネット社会でのスポーツコンテンツについて考える	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
7 /	情報番組	三上	講義 報道番組と情報番組の違いや、情報番組の制作過程について学ぶ	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
8 /	ドキュメンタリー	三上	講義 ネット社会でのドキュメンタリー作品について考える	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
9 /	ニュース映像の基礎知識	三上	講義 動画撮影・編集・照明の基礎知識や心構えなどを判りやすく解説する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
10 /	メディアの視点 I 「日常の中の非日常」	三上	講義 日本の素晴らしさは我々の日常の中に潜んでいることを授業で再認識する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
11 /	映像コンテンツ実例研究	三上	講義 取材前の立案から放送まで、幾つかの映像作品を検証し、企画立案の参考にする	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
12 /	人を傷つけないための表現	三上	講義 人権を守り 人を傷つけないために、テレビが築き上げた仕組みを研究する	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
13 /	テレビとネット：利点と問題点	三上	講義 ネット社会での無数の情報をどのように峻別し受け入れればよいのかを考える	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
14 /	これまでの授業のまとめと課題	三上	講義 これまでのポイントを振り返り、皆に短くレポートしてもらおう	1週間のニュースチェック、 講義の予習と復習 180
15 /	ドキュメンタリー鑑賞	三上	講義 ドキュメンタリー作品を鑑賞し皆でディスカッションする	1週間のニュースチェック、 講義の復習 180
/				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
教育を考える	笹倉千佳弘(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
On Education							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 日本の教育状況に関する基本的な事柄を、文部科学省の意図に沿って説明する。そのうえで、教育現実に根差した批判的な議論をとおして、日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得できるよう講義する。なお教科書（『(わかちあい)の共育学 基礎編』、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美、明石書店、2000円）は授業内で販売する。							
教科書	なし						
参考書	『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問い直すー』、井上寿美・笹倉千佳弘、明石書店（本体1800円+税）						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見直しを たてる	90
2 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	道徳の理論と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	道徳の理論と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	特別活動の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	特別活動の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	生徒指導の理論と方法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	生徒指導の理論と方法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	幼児理解の理論と方法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	幼児理解の理論と方法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
心 理 学	林 幸範(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Psychology							
資格等取得との関連	准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・心理学についての基本的な知識や考え方が理解することができる。 ・それらの知識や考え方を基に「こころ」について自分なりの考え方ができる。							
授業の内容 心理学とは、「こころの諸現象を心理学的方法で研究する科学である」といえ、学問の一領域である。そこで、本講義では、「こころとは何か」をメインテーマとして、「こころ」における基本的な理論や概念を15のサブテーマを設定して、心理学を基礎に考えていく。その際にできる限り今日的な問題についても考えていく。 なお、本講義では、「テーマシート」を利用したアクティブ・ラーニングの授業を実施する。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業内で紹介						
担当者からのメッセージ	本授業は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。なお、教科書は使用しないが、毎回「資料ノート」を配付する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。なお、第15回の「テーマシート」は、定期試験時に返却予定。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストで、論述式で実施				
	レポート						
	その他	40	毎回実施する「テーマシート」の評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください。						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp (林) yhayashi@tkb.att.ne.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。 (共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	こころ、あなたはどう思いますか？ －こころをどう考えるのか、哲学それとも科学：心理学小史－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	60
2 /	こころ、どこにある？ －人間のこころの生物学的基礎：生理的心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	リンゴは、なぜ赤くて丸いのか？ －ものの見方・捉え方：感覚・知覚心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	物覚えが悪くてね！？ －おぼえる・思い出す：記憶心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	勉強、どう思う？ －行動が変わる：学習・行動心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	思考や知能は、遺伝するのか！？ －ものを考える：思考・言語・知能心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	あなたは、感情的、理性的？ －人が動く心理：感情・動機心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	発達とは、どんなこと？ －こころの発達：発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	この絵、何に見える？ －人間の発達：生涯発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	あなたの短所は？ 長所は？ －その人らしさ：性格・人格心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	こころのバランスは、なぜ崩れるのか？ －こころもカゼをひく：臨床心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	犯罪は、どうして起こるのか？ －逸脱の心理：臨床・犯罪心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
13 /	なぜ、授業中私語をしてしまうのか？ －人と人・個人と社会：社会・産業・災害心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
14 /	教育、どう思いますか？ －教育現場での心理：教育・障害者心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
15 /	この実験をどう思う？ －心理学とは：心理学の方法論－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心と身体のヘルスケア	神村 有紀(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Healthcare of Body and Mind							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「心と身体の健康」という観点から、主に心理学、リラクゼーションやストレス理論を用いて、自分自身の心身の状態を見直すことができる。 ・講義で習得したことを、実際の日常生活に応用し、自分自身の「心身の健康」について考察することができる。							
授業の内容 本講義では、主なストレス理論と心身の健康に有効なさまざまな対処法をとりあげ、講義する。一般的なストレス・マネジメント法を中心に、心身のセルフケアとして広く親しまれ、実践しやすいものを取り上げ、その背景にある人間観や健康観に留意しつつ学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この科目は講義科目ですが、一方的に聞くだけで終わらせるのではなく、実際に、日常の生活の中で、自分自身に適切なセルフケアを実践することを目標としています。 受講態度の評価は、できる限り積極的に参加し、学ぼうとする姿勢で臨まれているかをポイントとし、ディスカッションや発表の際の取組み方、及び毎回の小レポートの内容に基づいて判断します。また、授業内容とは無関係の私語や作業について、見受けられた場合は減点対象とするので、注意してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、共通の見解、深く考察された内容、また誤解しやすい点等を取り上げ、次回の授業の中でコメントしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業内で提出を求めるショートレポートの内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	kmyuki-a@st.ritsumei.ac.jp（神村）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	はじめに 本講義の目的と「健康」の定義について	神村	講義	授業ノートを見直す	30
2 /	ストレスと健康1 ストレスの定義とストレス理論の基礎知識	神村	講義	授業ノートを見直す	30
3 /	ストレスと健康2 ストレス反応のメカニズムとコーピング	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
4 /	ストレスと健康3 心身相関と自律訓練法1	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
5 /	ストレスと健康4 心身相関と自律訓練法2	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
6 /	人間関係と健康1 交流分析理論でみつめる自己の人間関係	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
7 /	人間関係と健康2 アサーション・トレーニングと自己のコミュ ニケーションスタイル	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
8 /	心身の健康とボディワーク1 ヨーガの歴史と健康観	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
9 /	心身の健康とボディワーク2 ヨーガ実践の基礎知識とセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
10 /	東洋の健康文化と心身の健康 東洋医学的健康観とストレス	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
11 /	アロマセラピーと心身の健康1 ハーブ、アロマセラピーの基礎知識	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
12 /	アロマセラピーと心身の健康2 ハーブ、アロマセラピーと心身のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
13 /	アロマセラピーと心身の健康3 バッチフラワーレメディと感情のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
14 /	「内なる子ども」と心身の健康	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
15 /	「健康」について再考する	神村	講義とレポート	授業ノートを見直す	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化論	森 治子(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Cultural Studies of Living							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 講義で紹介する様々な生活文化を通して、日本文化の特徴や特質について理解を深め、他国の文化についても関心をもつことができるようになる。 ・ 社会と文化と人びとの暮らしとの関係性を理解し、学生ひとりひとりが自分自身のライフスタイルについて考えることができるようになる。 ・ 日本の文化やライフスタイルについて、自分の言葉で説明し、表現できる力を身につける。							
授業の内容 生活文化とは人が生活していくための技術や手段である。この授業では日本人が日常生活のなかでどのような行動や考え方をしてきたか、そのことが生活にどのように反映されてきたかということ、衣食住や遊びに関する事象から検討する。 また、生活のなかで継承されてきた様々な技術や生活道具の歴史をひもとくことによって、文化の諸相について考える。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	教科書は使用しないので、教材プリントや資料を配付する。 講義内容の理解を深めるために、昔の映画やドラマ、ドキュメンタリー作品等を鑑賞することがあるので、私語は慎むこと。 疑問に感じたことやわからないことがあれば、積極的に質問をしたり、自分から調べる習慣を身につけてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時に提出する課題や感想文は、翌週の授業でまとめて講評し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業時に提出を求める感想文やコメントペーパー				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	60	授業内容の理解度と到達目標の達成度を総合的に評価する				
	その他	20	復習を兼ねた課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mori916hrk@gmail.com（森）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生活文化を学ぶための方法について	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
2 /	衣生活に関する文化1 和装と洋装(1) 古代～近世	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
3 /	衣生活に関する文化2 和装と洋装(2) 明治・大正・昭和	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
4 /	衣生活に関する文化3 日本の色彩と化粧文化	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
5 /	住まいに関する文化1 日本の住まいとくらしのスタイル(1) 住まいの変遷	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
6 /	住まいに関する文化2 日本の住まいとくらしのスタイル(2) ライフスタイルと間取り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
7 /	住まいに関する文化3 日本の住まいとくらしのスタイル(3) ライフステージと住まい	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
8 /	食に関する文化1 食の起源	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
9 /	食に関する文化2 和食と洋食	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
10 /	食に関する文化3 伝統行事と行事食	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
11 /	食に関する文化4 喫茶と菓子の文化	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
12 /	食に関する文化5 環境問題と食生活	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
13 /	四季の行事と遊びの文化1 春から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
14 /	現代の社会とライフスタイル2 夏から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
15 /	まとめ	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども社会	笹倉千佳弘(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Child Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子ども社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を学ぶ。 ・事例検討をとおして、子どもとおとなの関係という視点から子ども社会の意味世界に分け入る。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 子ども社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を学ぶ。そのうえで、子どもとおとなの関係という視点から、子ども社会の意味世界にふれることができるように講義する。なお教科書（『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問い直すー』、井上寿美・笹倉千佳弘、明石書店、1800円）は授業内で販売する。							
教科書	なし						
参考書	『わかちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美、明石書店（本体2000円+税）						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んでくること 復習：本授業全体の見直しをたてる	90
2 /	子どもへのまなざし(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	子どもへのまなざし(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	子どもとおとなのかかわり(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	子どもとおとなのかかわり(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	子どもの育つ場(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	子どもの育つ場(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	子ども理解について考える(その1)	笹倉	記録映画の視聴	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	子ども理解について考える(その2)	笹倉	記録映画の視聴と議論	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	自己肯定感について考える(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	自己肯定感について考える(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	仲のよさについて考える(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	仲のよさについて考える(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代社会と福祉	松木 宏史(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	実務経験
							○
Social Welfare in Contemporary Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・社会福祉について「ひとつとではない問題」「ほっとけない問題」としてとらえられるようになる。 ・社会福祉に対する「古い常識」や「偏見」に対して、科学的・批判的にとらえられるようになる。 ・社会科学としての「社会福祉学」にふれることで、社会問題に対してこれまでと違ったものの見方・考え方ができるようになる。							
授業の内容 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による講義である。 この授業の目指すところは「自己責任論の克服」である。また科目名は「現代社会と“福祉”」としているが、正しくは“社会福祉”である。15回の授業を通じて、様々な社会問題・生活問題を取り上げるが、過酷な実態の中で社会福祉がどのような役割を果たしているか、受講生とともに考えるような内容にしたい。実態に迫るため、ドキュメンタリー映像を多用する。 なお、この科目は社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の「現代社会と福祉」ではない。科目互換制度を利用する他大学の学生は注意されたい。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	社会福祉のあり方について純粋に興味がある学生の受講を歓迎する。 また、論点をはっきりさせるために、ときに担当教員の考えや意見を明示する。しかし、これは考えや意見を押し付けるものではない。受講者自身が考えを深めるための材料として受け止め、時にはレポート等で批判してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	ほぼ毎回何らかの提出課題を課すが、課題は担当教員が確認・検印のうえ返却する。返却された課題はなくさないように保管すること。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中に課す小レポートで算出する				
	授業内試験						
	定期試験	50	社会福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「社会福祉」を考えるヒント	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
2 /	災害復興と社会福祉	松木	講義 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
3 /	児童養護施設を出て「自立する」とは	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
4 /	限界の家族介護—介護殺人、介護心中	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
5 /	放置される劣悪な施設—無届け介護ハウス	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
6 /	「障がい」とはなにか	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
7 /	重度障害者の声に耳を傾ける	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
8 /	「犯罪を犯した人」の人権	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
9 /	なくなる子どもの居場所	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
10 /	安心して病院にかかりたい	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
11 /	売春被害も自己責任？	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
12 /	社会問題と「感動ポルノ」	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
13 /	映画鑑賞(1)	松木	映画鑑賞 14回目と連続授業	14回目と連続授業	0
14 /	映画鑑賞(2)	松木	映画鑑賞 作品の背景に関する講義 振り返りシート記入	映画の解説を読み返す	60
15 /	授業のまとめ 「自己責任論」を克服するために	松木	講義 振り返りシート記入	定期試験に向けて復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本国憲法	渡邊 暁彦(非常勤)	1年次	前・後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Constitution of Japan							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修					
授業の到達目標 ・憲法の意義及び役割について、私たちの身のまわりの事柄と結びつけて理解するとともに、それを分かりやすく説明できる。 ・現代社会において人権がどのように保障されているか、日々のニュース（時事的な話題）と関連させながら理解できる。 ・国家と個人との関係に着目し、民主主義社会における市民としての責務を自覚できる。							
授業の内容 「憲法」ときいて、あなたはどのようなイメージを持つだろうか。最近では、「憲法」について目にする・耳にする機会も増えてきている。本講義では、小・中学校や高等学校などでの憲法学習で得られた知識をもとに、より体系的に日本国憲法の全体像を理解することを目的とする。特に、私たちの身近な生活にかかわる事柄や人権保障をめぐる問題を中心に、あらためて憲法とは何か、その意義や役割等について受講者全員で考えてみたい。							
教科書	『スタート憲法【第3版】(3月刊行予定)』 吉田仁美編 (成文堂) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	芦部信喜『憲法【第七版】』(2019年、岩波書店) 吉田仁美・渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』(2016年、ナカニシヤ出版) その他、適宜、授業時に指示する。						
担当者からのメッセージ	現代社会の諸事象に興味・関心をもってほしい。そのために、まずは日々の新聞及び雑誌記事の切り抜きを心がけてほしい。適宜、授業時に発言、コメントを求めたいと考えている。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	理解度を確認するための小テストや課題等については、授業時に解説・コメントを行ったうえで返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への参加態度、コメント用紙の記入、小レポート、小テスト等を含む。				
	授業内試験						
	定期試験	60	重要な語句・概念、判例等に対する基本理解を問う内容				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	aki@edu.shiga-u.ac.jp (渡邊)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	法とは何か、憲法とは何か	渡邊	講義・質疑応答	テキストの目次、プロローグに目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	30
2 /	比較のなかの日本国憲法 ～日本国憲法は諸外国の憲法と比べて「新しい憲法」なのか？	渡邊	講義・質疑応答	授業の内容を復習し、授業で取り上げた何れかの国の憲法の特徴についてまとめておくこと。	60
3 /	日本国憲法はどのように作られたのか ～日本国憲法の制定過程を振り返る	渡邊	講義	授業で示す課題についてレポートを作成すること。	180
4 /	人権総論 ～人権の観念、権利と義務、私人間効力論など	渡邊	講義・質疑応答	「身近な生活のなかの人権問題」についてまとめておく。	90
5 /	人権は誰のもの？	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第2章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
6 /	人権保障の現在（1）自己決定権とプライバシー	渡邊	講義・グループワーク	テキスト第3章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
7 /	人権保障の現在（2）法の下での平等	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第4章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
8 /	人権保障の現在（3）表現の自由を中心に精神的自由について	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第5章、第6章、第7章のなかで指定した箇所に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
9 /	人権保障の現在（4）経済活動の自由	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第8章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
10 /	人権保障の現在（5）社会権	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第10章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
11 /	人権保障と権力の分立	渡邊	講義・質疑応答	「統治機構総論」に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	60
12 /	国会と選挙 ～政治参加をめぐる問題	渡邊	講義・討論	テキスト第11章、第12章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
13 /	内閣 ～議院内閣制と首相公選論	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第13章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
14 /	あなたも裁判官？ ～裁判所、裁判員制度を中心に	渡邊	講義・討論	テキスト第14章に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと。	90
15 /	まとめ ～憲法改正論議と私たち	渡邊	講義・質疑応答	最近の憲法改正論議について、各自の考えをまとめておくこと。	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代の健康	堀池喜八郎(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Nutrition and Health Sciences							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「生きている」ことの基本を理解する。 ・マスメディアにみられる「二セ科学」について理解する。 ・科学的思考方法の有効性と限界について知る。							
授業の内容 医療の経験を持つ教員が担当する。 健康に生きるための知識として、食事（栄養素）、摂取エネルギー、消費エネルギー、細胞の仕事、生体内のエネルギー通貨ATP、脳による代謝の統合について解説する。 さらに、健康や栄養に関連したマスメディアにみられる「二セ科学」について勉強する。 講義資料を配付する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。 授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した約10項目の用語から3項目ほどを選択して、レポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	k-horiike@sumire.ac.jp（堀池）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生きるためには食べなければならない	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
2 /	栄養素を分類する	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
3 /	ビタミンとは何か	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
4 /	ビタミン様作用物質	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
5 /	ビタミン発見小史1：概観	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
6 /	ビタミン発見小史2：脚気	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
7 /	ビタミン発見小史3：日本人の活躍	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
8 /	ビタミン発見小史4：ナイアシン欠乏症（ペラグラ）	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
9 /	医学領域における自己人体実験	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
10 /	アミノ酸代謝の特徴：糖質や脂質の代謝とどこがちがうのか	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
11 /	必須アミノ酸とタンパク質の栄養価（アミノ酸スコア）	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
12 /	生きるために必要なエネルギーの量	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
13 /	生き物の細胞内エネルギー通貨ATP	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
14 /	エネルギー代謝の脳（視床下部）による調節と統合	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
15 /	マスメディアに見られるニセ科学：生（なま）のつく言葉、健康食品のウソ・ホント、科学の言葉で人をだます	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
数の不思議	久米 央也(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
Wonder of Mathematics							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。							
授業の内容 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えていく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	数学な苦手な人でも、大丈夫です。考えることが楽しいと感じることが大切です。数学的に考える力をつけることは、社会で出会う様々な問題を解決するのに役に立ちます。成績評価のうち「受講態度」については、毎回の授業での課題に積極的に取り組んでいたかを中心に評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については授業中に取り上げ説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験	50	授業内容が理解できているかについて授業の復習テストを行う				
	定期試験						
	レポート	20	授業の終わりに課題を出し、授業の理解ができていないかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前予約が望ましい）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 論理力 (うそつき問題) 直観力 (マッチ棒問題) 数の不思議 (答えの予言の謎)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
2 /	論理力 (川渡り問題) 数の不思議 (電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
3 /	直観力 (マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見 (十進位取り記数法の誕生)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
4 /	17列目の謎を解く 数列の不思議 (ピザを切ったら) フボナッチ数列の不思議 素数の不思議	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
5 /	142857の謎 (巡回数) パンデジタル 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
6 /	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
7 /	平面図形の不思議 消えた1cm ³ タングラム	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
8 /	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
9 /	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル (ハノイの塔) カエルの飛び越し	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
10 /	パラドックスの不思議 アキレスと亀 数と比の不思議 黄金比・白銀比	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
11 /	÷99の謎 3の不思議 リンゴ取りゲームの謎 小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
12 /	測定の不思議 (古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見 (地球を測定)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
13 /	塵劫記を解く 依杉算・カラス算・盗人算・入れ子算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
14 /	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
15 /	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
データ分析入門	小山内幸治(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・データ分析に必要な統計の基礎が理解できる。 ・EXCELを使って、実務データの分析ができる。							
授業の内容 データ処理に必要な統計の基礎を学び、さらにEXCELを用いて、実務データの分析を行うための手法を身につけることができる。							
教科書	『やさしく学ぶデータ分析に必要な統計の教科書』 羽山博 (インプレス) 価格(本体1,760円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実際のデータ処理にはEXCELを使います。この授業を受けるためには、EXCELの基礎知識を持っていることが必要です。また、ある程度算数の能力も必要となります。 この授業で取り扱った内容を理解すれば、実際のビジネス上のデータを分析することが可能になります。興味のある方は履修してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎時間課題が提出されます。課題は、次の時間の最初に解答します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業参加度・取り組みの態度				
	授業内試験						
	定期試験	70	コンピュータを用いたデータ分析の問題				
	レポート						
	その他	20	授業内課題				
自由記載							
オフィスアワー	小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 および授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp (小山内)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス・データ分析の目的・データの形式	小山内	講義	データの形式を復習し、入力方法を理解しておく	60
2 /	度数分布・ヒストグラム	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
3 /	平均値・中央値	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
4 /	標準偏差・分散	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
5 /	順位・偏差値・ABC分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
6 /	相関関係・回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
7 /	重回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
8 /	時系列分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
9 /	平均の差の検定・分散の差の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
10 /	独立性の検定・相関の検定・回帰の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
11 /	実務データ分析Ⅰ (平均の差の検定・分散の差の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
12 /	実務データ分析Ⅱ (相関の検定・回帰の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
13 /	実務データ分析Ⅲ (回帰分析・重回帰分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
14 /	実務データ分析Ⅳ (時系列分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
15 /	まとめと試験対策	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	これまでの内容を復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本語 I	青野 潤子(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	実務経験
Japanese I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・大学生として必要な日本語を身につけ、運用できる。							
授業の内容 敬語表現を中心に、場面別の会話を学習する。 役割練習や簡単なスピーチを行う。 なお、この授業は外国人留学生対象科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業のとき、辞書（電子辞書でもよい）を持ってくること。 配付したプリントを入れるファイルを準備すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は添削をして、次の授業のときに返却する。 □頭発表などの活動は、そのときにコメント指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極性などの受講態度によって評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	授業課題の達成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	自己紹介 実力確認テスト	青野	テストと解説	間違ったところをやり直す	60
2 /	敬語の基本	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
3 /	聴解・口頭表現(1) 勧誘する	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
4 /	聴解・口頭表現(2) 依頼する	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
5 /	聴解・口頭表現(3) 断る	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
6 /	聴解・口頭表現(4) 申し出る	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
7 /	聴解・口頭表現(5) 謝罪する	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
8 /	聴解・口頭表現(6) 意見を言う	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
9 /	聴解・口頭表現(7) 予約を受ける	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
10 /	聴解・口頭表現(8) サービスの敬語	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
11 /	聴解・口頭表現(9) 相談を受ける	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
12 /	聴解・口頭表現(10) 面接を受ける	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
13 /	聴解・口頭表現(11) 報告をする	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
14 /	聴解・口頭表現(12) スピーチをする	青野	講義と演習	口頭発表の準備	60
15 /	口頭発表とまとめ	青野	講義と発表	今学期に習ったところを確認・整理しておく	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本語Ⅱ	青野 潤子(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
Japanese II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・大学生として必要な日本語を身につけ、運用できる。							
授業の内容 さまざまなタイプの文章を読んだり聞いたりして、自分の考えを述べる。 ディスカッションなどをおして、意見のやり取りをする。 なお、この授業は外国人留学生対象科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業のとき、辞書（電子辞書でもよい）を持ってくること。 配付したプリントを入れるファイルを準備すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は添削をして、次の授業のときに返却する。 <input type="checkbox"/> 頭発表などの活動はそのときにコメント指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極性などの受講態度によって評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	授業課題の達成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	読解・口頭表現 説明文を読む(1)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
2 /	読解・口頭表現 説明文を読む(2)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
3 /	読解・口頭表現 エッセーを読む	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
4 /	読解・口頭表現 レポートを読む(1)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
5 /	読解・口頭表現 レポートを読む(2)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
6 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(1)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
7 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(2)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
8 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(3)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
9 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(4)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
10 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(5)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
11 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(6)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
12 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(1)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
13 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(2)	青野	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
14 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(3)	青野	講義と演習	新聞記事を選び口頭発表の準備	60
15 /	口頭発表とまとめ	青野	講義と発表	今学期に習ったところを確認・整理しておく	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I	萩澤 大輝(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。							
教科書	『Science for Fun!』 服部圭子, 山下弥生, 長谷川由美, Robert Perkins (金星堂) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	授業の妨げになる私語は厳に慎むこと。 毎回使用するため必ず辞書を持参すること(電子辞書も可)。 授業態度については、授業内の課題や議論に積極的に取り組んでいるかを評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、答案によく見られた誤りについて解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業態度				
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hagisawa_daiki@yahoo.co.jp (萩澤)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	UNIT 1 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
2 /	UNIT 1 のまとめ 助動詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
3 /	UNIT 2 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
4 /	UNIT 2 のまとめ 受動態	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
5 /	UNIT 3 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
6 /	UNIT 3 のまとめ 進行形	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
7 /	UNIT 4 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
8 /	UNIT 4 のまとめ 間接疑問文	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
9 /	UNIT 5 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
10 /	UNIT 5 のまとめ 分詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
11 /	UNIT 6 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
12 /	UNIT 6 のまとめ 接続詞のthat	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
13 /	UNIT 7 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
14 /	UNIT 7 のまとめ 不定詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
15 /	UNIT 8 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I	内田 幸代(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
授業の内容 この講座では、 1.さまざまな場面に応じて書かれた英文メールを読む。 2.英文メールの内容を日本語で理解した後、発音を磨きながら音読練習を行う。音読と並行してリスニングの力も養う。 3.サンプル英文メールを参考にしながら、メール作成の演習を行う。 4.時事問題を易しい英語で読み、日本や世界の動きを知り、ペアやグループで意見を交換し合う。 5.日本の伝統文化の一つ「折り紙」を、英語での説明文に沿って実際に折る演習を行う。 6.おもてなしのマナーについてのミニ知識も習得していく。 7.自分が作成した英文メールを紹介する。その際「ペアでメール交換・読み合わせ」「グループで輪読」「全体へのプレゼンテーション」等を行う。							
教科書	『Write Me Back Soon! Eメールで学ぶ英文ライティングの基礎』 成岡恵子 (金星堂) 価格 (本体2,000円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	以下を「授業態度」の評価とする。 1. 課題の「英文メール」を仕上げ、遅れずに提出すること。 2. 発表の際は、大きな声で積極的に発表すること。 連絡 辞書（電子辞書可）を毎授業に持参すること。 配付されたプリントが、どれでも簡単に、何度でも取り出せるようなファイルを用意すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、次時に添削をして返却する。 授業中に実施した小テストは、採点し次時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	発表には、練習を繰り返し熱心に取り組むこと				
	授業内試験	20	音読テスト・単語テスト等を実施する				
	定期試験	50	授業の内容についての理解度を「書くこと」で評価する				
	レポート	20	学んだ場面に応じて、適切な内容の英文メールが作成できること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yukiyo0715@gmail.com (内田)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション シラバスの説明 Unit 1: 自己紹介をするメールを読み、書く	内田	講義と演習 □頭での練習と対話	復習: 自己紹介をするメールを仕上げる	20
2 /	Unit 2: 依頼をするメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「箸置き」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 依頼をするメールを仕上げる	30
3 /	Unit 5: 約束を取りつけるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む One Point 音声学	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 約束をとりつけるメールを仕上げる	30
4 /	Unit 6: 謝罪を伝えるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む アルファベットの文字と音の関係	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 謝罪を伝えるメールを仕上げる	30
5 /	Unit 7: 予約するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む アルファベットの筆記体文字	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 予約するメールを仕上げる	30
6 /	Unit 8: 苦情を述べるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 苦情を述べるメールを仕上げる	40
7 /	Unit 9: 招待するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「箸入れ」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 招待するメールを仕上げる	30
8 /	Unit 11: リマインダーメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 母音のフォニックス	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: リマインダーメールを仕上げる	30
9 /	Unit 12: 誘いを断るメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「紙鉄砲」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 誘いを断るメールを仕上げる	30
10 /	Unit 13: 励ますメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「コースター」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 励ますメールを仕上げる	20
11 /	Unit 14: 祝福するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 紛らわしい発音とその文字	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 祝福するメールを仕上げる	40
12 /	Unit 17: 感謝の意を述べるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 子音のフォニックス	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 感謝の意を述べるメールを仕上げる	30
13 /	Unit 19: お見舞いの気持ちを伝えるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「ランチボックス」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: お見舞いの気持ちを伝えるメールを仕上げる	30
14 /	Unit 21: 季節の挨拶をするメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「紙風船」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 季節の挨拶をするメールを仕上げる	30
15 /	Unit 24: お悔みを述べるメールを読み、書く 英語で履歴書を書く 発音記号について	内田	講義と演習 定期試験対策のための演習	復習: お悔みを述べるメールを仕上げる	40
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ	萩澤 大輝(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。							
教科書	『Science for Fun!』 服部圭子, 山下弥生, 長谷川由美, Robert Perkins (金星堂) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	授業の妨げになる私語は厳に慎むこと。 毎回使用するため必ず辞書を持参すること(電子辞書も可)。 授業態度については、授業内の課題や議論に積極的に取り組んでいるかを評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、答案によく見られた誤りについて解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業態度				
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hagisawa_daiki@yahoo.co.jp (萩澤)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	UNIT8 使役動詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
2 /	UNIT9の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
3 /	UNIT9のまとめ 現在完了	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
4 /	UNIT10の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
5 /	UNIT10のまとめ 比較級	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
6 /	UNIT11の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
7 /	UNIT11のまとめ 前置詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
8 /	UNIT12の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
9 /	UNIT12のまとめ 動名詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
10 /	UNIT13の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
11 /	UNIT13のまとめ 接続詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
12 /	UNIT14の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
13 /	UNIT14のまとめ 形容詞・副詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
14 /	UNIT15の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
15 /	UNIT15のまとめ 関係代名詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ	内田 幸代(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この講座では 1. 「世界の童話（短編）」を音読トレーニング法を用いて学ぶ。 2. 本文を黙読し内容を理解した後、さまざまな手法の音読トレーニングを繰り返し行う。 3. 表現力（＝リズム・強調・イントネーション）豊かに英語を読みながら、同時に英語を聞く力を養い、「相手に伝わる英語」を身につけていく。 4. 易しい英語で書かれた時事ニュースを読み、日本や世界の動きを知り、ペアやグループで意見を交換し合う。 5. 「日本語で読んだニュースを、易しい英語を使って紹介する」ための演習を行う。 6. 仕上げ音読をペアで行う。 7. プレゼンテーションも行う。（自分で物語をretoldしたもの、紙芝居にしたもの等）							
教科書	『みんなの英語音読（世界の童話編）』 パククアンヒ カナダ教師英語朗読訓練研究チーム著 鈴木政浩監修（株式会社ask 出版） 価格（本体1,600円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	以下を「授業態度」の評価とする。 1. 授業の中で行うペアでの音読発表に、積極的に取り組むこと。 2. 前に出てプレゼンテーションを行う際は、大きな声で表現力豊かに発表し、同時に他の人の発表は静かに聞くこと。 連絡 配付されたプリントが、どれでも簡単に何度でも取り出せるようなファイルを用意すること。 辞書（電子辞書可）を毎授業持参すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に行う小テスト(単語テスト等)は、採点し結果を次時に返却する。 発音習熟度チェックのための音声テストを実施する。 「日本語で読んだニュースを、易しい英語で紹介する」ためのレポートは、優秀な作品を授業で共有し、読み合わせをする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	発表には、練習を繰り返し熱心に取り組むこと				
	授業内試験	20	音読テスト・音声(発音)テスト・単語テスト等を実施する				
	定期試験	50	授業の内容についての理解度を「書くこと」で評価する				
	レポート	20	日本語で読んだニュースを易しい英語で紹介するレポートを提出する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yukiyo0715@gmail.com（内田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	The Horse and the Ass Small World News 馬とロバ + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「みにくいアヒルの子」 を読んでくる	20
2 /	The Ugly Duckling Small World News みにくいアヒルの子 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「アシとオリーブの木」 を読んでくる	20
3 /	The Tree and the Reed Small World News アシとオリーブの木 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト 音読発表テスト	予習:「ライオンの分け前」を 読んでくる	20
4 /	The Lion's Share Small World News ライオンの分け前 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「キツネとブドウ」を読 んでくる	20
5 /	The Fox and the Grapes Small World News キツネとブドウ + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「羊飼いの少年と狼」を 読んでくる	20
6 /	The Sheperd's Boy Small World News 羊飼いの少年と狼 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「少女と3匹のクマ」を 読んでくる Retelling 発表に向けての練習	20
7 /	Goldilocks and the Three Bears Small World News 少女と3匹のクマ + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト 物語りの Retelling 発表	予習:「金の卵を産むガチョウ」 を読んでくる	20
8 /	The Goose with the Golden Eggs Small World News 金の卵を産むガチョウ + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「おなかと他の部分」を 読んでくる	20
9 /	The Belly and the Members Small World News おなかと他の部分 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「眠れる森の美女」を読 んでくる	20
10 /	Sleeping Beauty Small World News 眠れる森の美女 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「ジャックと豆の木」を 読んでくる	20
11 /	Jack and the Beanstalk Small World News ジャックと豆の木 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「白雪姫と七人のこびと」 を読んでくる	20
12 /	Snow White and the Seven Dwarfs Small World News 白雪姫と七人のこびと + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「ピノキオの冒険」を読 んでくる	20
13 /	The Adventure of Pinocchio Small World News ピノキオの冒険 + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「シンデレラ」を読ん でくる	20
14 /	Cinderella Small World News シンデレラ + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト □頭発表	予習:「ヘンゼルとグレーテル」 を読む Retelling 発表に向けての練習	20
15 /	Hansel and Gretel Small World News ヘンゼルとグレーテル + 時事英語ニュース	内田	講義と演習および小テスト 物語りの Retelling 発表	復習: 定期考査のために、学 んだこと全般の見直しをする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅰ	柴田 秀樹(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	実務経験
French I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を学習する。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、基礎的な文法の学習と会話練習を中軸とし、折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	アルファベット 発音の規則 あいざつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	身近なフランス語単語 0から10の数字	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	名詞の性	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	-er動詞の活用と主語人称代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	-er動詞の活用と否定形	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	etreの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	冠詞、etreを用いた自己紹介	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習 小テスト	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	avoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	avoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	aller、venir、faireの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	aller、venir、faireを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする) 復習	60
14 /	形容詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅱ	柴田 秀樹(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
French II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を身につけることができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、初級で学んだ文法事項を基盤として、より実践的な文法の学習と会話練習を行う。折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	初級の復習 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
2 /	faireの活用、12ヶ月の呼び方、序数	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
3 /	疑問文の作り方	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
4 /	命令法	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
5 /	vouloir、pouvoir、devoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
6 /	vouloir、pouvoir、devoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
7 /	所有形容詞、指示形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
9 /	複合過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
10 /	複合過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
11 /	近接未来と近接過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
12 /	近接未来と近接過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
13 /	代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
14 /	代名詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語Ⅰ	李 景芳(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 発音はことばの基礎です。この授業ではテキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に授業を進めていきます。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深めます。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳淑梅・劉光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝えます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	中国語について	李	講義	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	発音、声調、発音符号の練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第一課 本文説明 「こんにちは！」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第二課 本文説明 「これは何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第三課 本文説明 「どこへ行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第四課 本文説明 「いくつほしいですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第四課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第五課 本文説明 「何曜日、アルバイトに行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第五課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第六課 本文説明 「今日の授業は終わりましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第六課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめとテスト	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語Ⅱ	李 景芳(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 中国語Ⅰの履修者を対象に、テキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に学習を発展させていきます。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての「異文化」への理解を深めます。中国映画から学ぶ授業も計画しています。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳淑梅・劉光赤 著 (朝日出版社) 価格(本体2,300円+税) 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳 著 (さくら舎) 価格(本体1,400円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝えます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	第七課 本文説明 「ご飯を食べましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	第七課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第八課 本文説明 「富士山に登ったことがありますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第八課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第九課 本文説明 「何をしていますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第九課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第十課 本文説明 「趣味は何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第十課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第十一課 本文説明 「この靴はどうですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第十一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第十二課 本文説明 「お誕生日おめでとう」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第十二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第十三課 本文説明 「映画、もうすぐ始まります」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第十三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめ	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (食健康・ライフ)	山村 聡(非常勤)	1年次	後期	1	講義	選択	
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識の習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養います。 資料の配付やディスカッションを通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	30
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義 確認試験	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (ビジコミ)	山村 聡(非常勤)	1年次	後期	1	講義	選択	実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識の習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養います。 資料配付やディスカッションを通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	60
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義 確認試験	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(テニス) (食健康・ライフ・ビジコミ)	山中 博史(専 任)	1年次	前期	1	実技	選択	実務経験
Practical Skills in Sports (Tennis)							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なルールを理解する。 ・基本的な技術を習得する。 ・基本的な戦術を理解する。 ・他者とのコミュニケーションをとりながらゲームを楽しめる。 ・日常生活内の運動の必要性を理解する。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要である。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想される。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なことからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践していく。</p> <p>この授業では、基本的な技術練習を進めながら、最終的にはダブルスのゲームを楽しめるよう学習を進める。雨天時は体育館で授業を行うが、体育館の使用状況や人数的な条件から、テニス以外の種目となる場合もある。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行う。コートの準備や片付けなどにも、積極的に関わる。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは種目にふさわしいものを着用し、胸部に名前を書いたゼッケンをつけること。 積極的に参加し、テニスを楽しんでください。 技術の課題は、サーブが10本中5本以上成功させること。二人でラリーが7本続くこととします。最終日に実技試験を行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	40	サーブ・グランドストロークの実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点の説明 各種目の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具・コートの説明 ラケットとボールに慣れる ラケットの握り方	山中	実技	実技内容の振り返り	90
3 /	フォアハンドストローク 1本打ち (ペア交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
4 /	フォアハンドストローク 投げられたボールをフォアハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
5 /	フォアハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
6 /	バックハンドストローク 1本打ち (ペア交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
7 /	バックハンドストローク 投げられたボールを打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
8 /	バックハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
9 /	サーブ オーバーヘッドのサーブ練習	山中	実技	実技内容の振り返り	90
10 /	サーブとレシーブ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
11 /	ボレー (フォアハンド・バックハンド)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
12 /	シングルの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
13 /	ダブルスの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
14 /	ダブルスのゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
15 /	実技試験 ・サーブ (10本中5本以上) ・グランドストロークの連続 (ペアで7回)	山中	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(フィットネス) (食健康・ライフ・ビジコミ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Fitness)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズについて理解する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズの実践力を獲得する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズを日常生活のなかに取り込む態度を身につける。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>フィットネスは16名の上限人数を設けます。受講希望者が上限人数よりも多い場合は、抽選で受講者を決定する。</p> <p>健康維持のキーワードは、体組成・心肺機能・筋力・柔軟性である。フィットネスの授業ではこれらの要素に注目し、理論的な学習も含めた実践を行う。具体的には、ストレッチング(柔軟性)・エアロビック(有酸素)・ストレンクス(筋力)の3つのエクササイズを取り上げ、それぞれについての理解と実践力の獲得を目指す。理論的な講義も交えながら、Nordic Walkingや自重を利用した体幹トレーニング、またバランスボールなども利用して“からだへの気付き”をテーマに授業を行う。</p>							
教科書	なし						
参考書	『ストレッチ100の基本』 横山格郎・星川精豪 監修 (柘出版社) 『ノルディックウォーキング Starting book』 伊藤義昭 監修 (スキージャーナル) 『自重体幹トレ100の基本』 比嘉一雄 監修 (柘出版社)						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは、担当者の指示にしたがうこと。 授業内容に応じて、ウォーキングに適したスニーカーや体育館用シューズが必要となる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業開始時に体組成(体重と体脂肪率)を測定・記録するとともに、その日の授業内容や自分のからだへの気付きなどの内容を含めた記録カードの提出を課す。この記録カードは、担当者がコメントし次回授業開始時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎回提出する個人記録への記入状況				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業全体を把握する	北尾	講義	授業内容全体の理解	90
2 /	体組成計のセット ストレッチングEx.の基礎知識 ベーシックストレッチング	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
3 /	エアロビックEX.の基礎知識 Nordic Walking (2.8km)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
4 /	Nordic Walking (3.7km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
5 /	Nordic Walking (4.0km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
6 /	Nordic Walking (4.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
7 /	Nordic Walking (5.4km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
8 /	Nordic Walking (6.2km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
9 /	ストレンクスEx.の基礎知識 自重ストレンクスEx. 体力測定(握力・閉眼片足立ち・上体起こし)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
10 /	体力測定(立位体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
11 /	体力測定(踏み台昇降)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
12 /	股関節ゆるゆるストレッチング バランスボールEx.	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
13 /	自重ストレンクスEx.(体幹)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
14 /	自重ストレンクスEx.(上肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
15 /	自重ストレンクスEx.(下肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(バレー) (食健康・ライフ・ビジコミ)	山村 聡(非常勤)	1年次	前期	1	実技	選択	実務経験
							○
Practical Skills in Sports (Volleyball)							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・バレーボールの基本的なルールを理解する。 ・バレーボールの基本的な技術を習得する。 ・バレーボールの基本的な戦術を理解する。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要です。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想されます。 本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践しています。 この授業では、未経験者でもラリーが続きやすい軽量のローインパクトボールを使用し、基本技術練習、戦術的な向陽練習、そして技術レベルに応じたゲームを楽しみながら学習します。6人制バレーボールだけでなくとどまらず、生涯スポーツとして盛んに取り組まれているソフトバレーボールも取り上げます。 ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行います。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わります。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	経験の有無にかかわらず、積極的な参加態度、準備や後片付けなど協力姿勢、個人のスキル向上への努力度、スポーツを通じたコミュニケーションスキル等の総合評価で成績がつきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	実技試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に体育館で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点説明 種目の説明	山村	講義	実施要項の理解	90
2 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
3 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
4 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
5 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・サーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
6 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
7 /	ソフトバレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
8 /	ソフトバレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
9 /	バレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパスソフト ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
10 /	バレーボール基礎技術 ・サーブ ・レシーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
11 /	バレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
12 /	バレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
13 /	ゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
14 /	ゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
15 /	振り返り 実技試験	山村	実技試験	実技習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期集中	1	演習	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Bowling&Golf)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ボウリングのマナーと基本技術が分かり、楽しむことができる。 ・ゴルフのマナーと基本技術が分かり、楽しむことができる。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)は、夏期休暇中に両種目が開講される集中実技である。学内では経験できないスポーツにも触れることで、生涯に渡ってスポーツに親しみ、楽しむことのできる身体的教養を身につけることを目標とする。 受講上限人数は原則30名とし、受講希望者が上限人数を超えた場合は抽選で受講者を決定する。また、希望者が一定数に満たない場合は開講しないことがある。事前ガイダンス(7月)を実施します。正当な理由なく欠席した場合、履修を認めない場合がある。掲示等に充分注意して必ず出席すること。 以下の日程・場所で両種目を実施する。 <ボウリング> 日程：8月18日(火)～20日(木)※天候状況によって、21日(金)まで延長。 場所：栗東ボウリングジム <ゴルフ> 日程：9月7日(月)～10日(木)※天候状況によって、11日(金)まで延長。 場所：大津ロングゴルフ(7日～9日) 近江カントリー倶楽部(10日)							
教科書	なし						
参考書	特になし スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)の受講には、別途費用(¥13,000)が必要です						
担当者からのメッセージ	同一年度内にボウリングとゴルフの双方で合格点に達しない場合、単位履修とは見なしません。 受講態度の観点として、必要に応じて編成されるグループ内での人間関係構築の様子や、技術的な課題への意欲などを設けます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業のなかで必要に応じて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	提出課題				
	その他	30	実技上達度				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分 山中研究室 火～金曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	山中 北尾	講義 短大	実施要項の理解	90
2 /	ボウリングのルール・マナーの理解	北尾	講義 ボウリング場	内容の理解と整理	90
3 /	投球動作の基本技術	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
4 /	投球動作の技能化	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
5 /	スピアにつながる投球	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
6 /	スコアの理解とスコアメイクにつながる投球	北尾	講義 実技	内容の理解と整理	90
7 /	試合を楽しむ(個人戦)	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
8 /	試合を楽しむ(団体戦)	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
9 /	ゴルフのルール・マナーの理解	山中	実技 ゴルフ練習場	内容の理解と整理	90
10 /	スイングの基本技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
11 /	スイングの技能化	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
12 /	アイアン・ウエッジの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
13 /	フェアウェイウッドの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
14 /	パッティングの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
15 /	ラウンドを楽しむ	山中	実技 ゴルフコース	実技内容の振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(キャンプ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期集中	1	実技	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Camp)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・人の多様性を理解する。 ・野外における共同生活をすることができる。 ・円滑なコミュニケーションを図ることができるようになる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。 スポーツ実技(キャンプ)では、キャンプ場という自然の中の非日常的な環境のもとで、仲間と生活を共にして様々な「体験」を積み重ね、「協力」「コミュニケーション」の大切さについて再考することをねらいとしている。また、原体験(火・石・土・水・木・草・動物・ゼロ)を通して、“生きる力”について再考することもねらいのひとつである。個性を持つ“人”が集まり同じ目標に向かって協力していく中で、“本当に必要なもの”について考える機会としていただきたい。 事前学習として、前期期間中に2回の課題提出を課す。また、事前ガイダンス(7月)を実施するので必ず出席すること。 以下の日程・場所でキャンプを実施する。 <日程> 9月1日(火)～3日(木) 2泊3日 ※気象状況により8日(火)～10日(木)に日程変更する可能性がある。 <場所> 希望が丘文化公園内野外活動センター <参加費用> 受講料として¥11,000を徴収する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	課題の未提出や事前ガイダンスの欠席は、受講を認めない場合がある。 事前ガイダンスの実施日は、後日、掲示にて発表する。 キャンプは、決められたグループによる共同生活となるので、積極的に他者と関わることでできる学生の受講を求める。 受講態度の観点として、グループ内での人間関係構築の様子や、グループやキャンプ全体への貢献度を設ける。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	事前課題については、キャンプ時に返却します。キャンプでの活動の参考にしてください。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	グループ内での人間関係性、及びキャンプ全体に関わる積極性				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	現地にて最終日に記述提出する振り返りレポート				
	その他	20	事前課題(10%×2回)				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分 山中研究室 火～金曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp(北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp(山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	課題1 野外で可能な料理レシピを考える	北尾 山中	課題提出 短大	課題に関する下調べ	180
2 /	課題2 キャンプファイヤースタッツを考える	北尾 山中	課題提出 短大	課題に関する下調べ	180
3 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義 短大	実施要項の理解	90
4 /	イニシアティブゲーム	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
5 /	野外炊事(野外調理での食材カット)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
6 /	ナイトウォークラリー	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
7 /	野外炊事(野外調理での火加減調節)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
8 /	ネイチャークラフト	北尾 山中	実技 キャンプ場	活動の振り返り	90
9 /	野外炊事(野外調理での省力化)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
10 /	ディナーパーティーとスタッツの準備	北尾 山中	グループワーク キャンプ場	活動の理解と振り返り	180
11 /	野外炊事(野外調理での可能性への挑戦)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
12 /	キャンプファイヤー(スタッツ)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
13 /	野外炊事(直火を使わない野外調理)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
14 /	撤収と環境整備	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	環境の理解 活動の振り返り	90
15 /	振り返り	北尾 山中	課題提出 キャンプ場	キャンプ全体の振り返りとまとめ	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(スノースポーツ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	後期集中	1	実技	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Snow Sports)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・ 集団生活のルールやマナーを理解し、集団の一員として円滑な生活を送ることができる。 ・ 降雪地域での生活について理解する。 ・ スノースポーツにおける安全について理解し、安全につながる行動の実践ができる。 ・ スキーもしくはスノーボードで、自分の技術に合わせてスピードと回転弧をコントロールして滑ることができる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。 スポーツ実技(スノースポーツ)では、スキーもしくはスノーボードを安全に楽しむことのできる知識と技術を習得し、生涯にわたって活動できるフィールドを雪上へも広げ、より豊かなスポーツライフを送ることのできる素養を身につけることを目標とする。また、宿泊を伴うので、共同生活・団体行動に必要なコミュニケーションや自己表現を考える機会にして欲しいと考える。 受講者が少ない場合は開講しないことがあるので、卒業単位として見込む場合は注意が必要である。 以下の日程と場所で開講予定である。 <日程> 2021年1月29日(金) 夜発～2月2日(火) 到着 4泊5日(車中2泊+現地2泊) <場所> 新潟県妙高市 妙高杉ノ原スキー場 <参加費用> 受講料として¥28,000を徴収する。レンタル用品、リフト代、昼食代は別途必要。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本授業は、事前ガイダンスへの出席状況、現地の実技講習や講義の受講状況を受講態度として評価します。また、全実技講習修了後、現地で簡単な振り返りレポートを提出していただきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	受講生に課せられる主要な課題は、滑走技術の上達です。技術レベルに応じた班編制を行い、現地実技講習のなかで個人の技術レベルに応じたフィードバックを行う。また、円滑な集団生活を送ることも課題のひとつである。現地宿舎において、それぞれ必要に応じてフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	事前ガイダンスへの出席状況と現地の実技講習や講義の受講状況				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	現地にて最終日に提出する振り返りレポート				
	その他	30	技術的上達度				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分 山中研究室 火～金曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具の準備	北尾 山中	宿舎内での用具(レンタル) 合わせ 個人装備の確認	必要な用具の確認と準備	90
3 /	実技講習1(1日目午後) ～基礎技術の確認～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	講習内容を振り返りまとめる	90
4 /	実技講習2(1日目午後) ～基礎技術の技能化～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	講習内容を振り返りまとめる	90
5 /	講義(スノースポーツの安全)	北尾 山中	宿舎内での講義	講義内容を振り返りまとめる	90
6 /	実技講習3(2日目午前) ～基本技術の確認～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
7 /	実技講習4(2日目午前) ～基本技術の技能化～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
8 /	実技講習5(2日目午後) ～滑走距離を伸ばす～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
9 /	実技講習6(2日目午後) ～斜度への対応～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
10 /	講義(スノースポーツの用具)	北尾 山中	宿舎内での講義	講義内容を振り返りまとめる	90
11 /	実技講習7(3日目午前) ～様々な状況への対応～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
12 /	実技講習8(3日目午前) ～スピードをコントロールする～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
13 /	実技講習9(3日目午後) ～ターン弧をコントロールする～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
14 /	実技講習10(3日目午後) ～各自の滑走プランに沿って滑る～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
15 /	振り返り	北尾 山中	実技講習記録と参加レポートの提出	期間中の実技講習、及び講義を振り返りまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (食健康)	清水まゆみ(専 任) 他	1年次	前期	1	演習	食健康/必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・短大生活の間に、自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得する。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身に付け、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科・各コースごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気付き生き方を考える」力、を身につけていくことである。 授業のまとめとして、少人数のグループで課題を解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力をおおいに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントしマイキャリアファイルを返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp (清水)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ 基礎学力テスト	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	キャリアについて 漢字テスト(1)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	ノートの取り方 漢字テスト(2)	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	手紙・はがきのマナー 漢字テスト(3)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	文書の書き方(1)(2) 漢字テスト(4) 話し言葉から書き言葉へ、正しい構造の文章 を書く	山岡	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	文書の書き方(3) 漢字テスト(5) 要約文を書く	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	計算の基礎 漢字テスト(6)	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	笹倉	グループワーク	配付資料を読み返す	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (製菓・製パン／ライフ)	清水まゆみ(専 任) 他	1年次	前期	1	演習	製菓・製パン/ライフ/必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・短大生活の間に、自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得する。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身に付け、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科・各コースごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気付き生き方を考える」力、を身につけていくことである。 授業のまとめとして、少人数のグループで協力して課題を解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力をおおいに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントしマイキャリアファイルを返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp (清水)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ 基礎学力テスト	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	キャリアについて 漢字テスト(1)	原	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	ノートの取り方 漢字テスト(2)	石井	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	手紙・はがきのマナー 漢字テスト(3)	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	文書の書き方(1)(2) 漢字テスト(4) 話し言葉から書き言葉へ、正しい構造の文章 を書く	原	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	文書の書き方(3) 漢字テスト(5) 要約文を書く	石井	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	計算の基礎 漢字テスト(6)	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	原	グループワーク	配付資料を読み返す	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (幼教)	柚木たまみ(専任) 他	1年次	前期	1	演習	必修	
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を得ることができる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを得ることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎的知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科ごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気付き生き方を考える」力、を身につけていくことである。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業の聴講態度、「マイキャリアファイル」の完成状況により、成績を評価する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	キャリアファイルについては毎回感想を記入しクラス担当教員に提出する。感想に対して担当教員がコメントや検印を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の中で課題への積極的、意欲的取り組み等、受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	確認テスト	柚木 他	試験	入学前課題にとりくむ	120
2 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
3 /	文章の書き方(1) 話しことばから書きことばへ	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
4 /	文章の書き方(2) 正しい構造の文章とは	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
5 /	文章の書き方(3) 文章の要約	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
6 /	知っていますか日本のこと	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
7 /	話題のことば	柚木 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	柚木 他	試験	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (ビジコミ)	江見 和明(専 任) 他	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得し、それを活用できる。 ・働くとはどうしたことか、社会人とは何かということについて、自分なりの考えを持てるようになる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎的知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科ごとに内容を設定して学習する。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気付き生き方を考える」力を身につけていくことである。 授業では様々なテーマでグループディスカッションを行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業の聴講態度、「マイキャリアファイル」の完成状況により、成績を評価する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	マイキャリアファイルに、その日の授業のふりかえりを記入する。クラス担当教員がふりかえりの内容にコメントをし、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの記入内容				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。 (ビDP1) 【知識・理解】 社会におけるマナーを理解している。 (ビDP2) 【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3) 【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて行動できる。 (ビDP4) 【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	入学前課題確認テスト	堀池	テスト	できなかった問題を復習する	90
2 /	キャリアとは何か	江見	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	職業人意識 働くことの意義	外部講師 小山内	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	社会人基礎力 チームで働く力	外部講師 山中	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	就職活動の仕組み	外部講師 伊藤	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	業界・企業研究の基本	外部講師 沖山	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	ポジティブシンキング	中村	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	エントリーシート・応募書類の書き方	外部講師 若生	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化入門	清水まゆみ(専 任) 他	1年次	前期集中	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Life Culture							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・生活を送るうえで役立つ知識や技術を身につける。 ・日常生活について考え、興味を持つようになる。 ・自分自身の生活を理論的に捉えられる。							
授業の内容 生活を豊かにするための知識や技術について学び、実習や演習により専門課程に必要な基本技術を身につける。食と健康では生活と健康の関わりを食を通して理解する。製菓分野では滋賀県の有名企業でパティシエとして勤務経験のある教員により実習を行う。ファッション分野では衣生活を彩る作品作りを行う。							
教科書	なし						
参考書	担当教員が随時紹介する						
担当者からのメッセージ	日常生活に興味・関心を持ち、理論的に捉えてみましょう。授業では意欲的に学ぼうとする態度を評価します。得られた知識や技術を、日々の生活にどのように活かせるか考えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出後、内容を確認して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	積極的に受講しているかを評価する				
	授業内試験	20	理解度確認のためのテストを実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	製作物等の完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp（清水）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	食べ物と健康	清水	講義	授業内容を復習し、まとめる	60
2 /	自立するということ	笹倉	講義・演習	授業内容を復習し、まとめる	60
3 /	ドレスコラージュ	河村	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
4 /	色素の分析	清水	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
5 /	パティシエ気分	石井	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
6 /	世界の主食ートウモロコシ編ー	中平	講義	授業内容を復習し、まとめる	60
7 /	食べ物の本物？ 偽物？	原	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
8 /	給食ができるまでを知ろう	山岡	講義	授業内容を復習し、まとめる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育音楽入門	柚木たまみ(専 任)・松井 典子(専 任) 奥戸 雅子(非常勤)・寺西 裕子(非常勤)	1年次	前期集中	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to childcare music							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子どものあそびや表現を演習課題に取り組みながら理解する。 ・子どもの表現活動を支えるための基礎技能を学ぶ。							
授業の内容 幼児教育保育、福祉の現場において音楽をさまざまなかたちで利用する音楽療法士、そして演奏家、教育者としての長年の経験を生かした授業内容である。 幼児教育保育におけるあそびの意義を知る。また、グループワークによる表現あそびを使った模擬保育を行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	幼児教育保育学科の教員が子どもの「あそび」、そして音楽あそびに関わる実践的な授業を行います。グループワークも行いますので、意欲的、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、授業内で行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	各担当教員の課題の取り組み度				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木) n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 子どものあそび、音楽あそびについて 楽譜を読む知識	柚木	講義、演習	授業の復習	120
2 /	基礎的な楽典 音楽あそびについて 童謡(歌唱) ピアノの基礎技能について	柚木 松井	講義、演習 グループによるピアノレッス ン	授業の復習と予習	120
3 /	課題1 グループワーク課題1 童謡(歌唱) 音楽あそび ピアノ実技	柚木 松井 奥戸 寺西	演習 グループによるピアノレッス ン	授業の復習と予習	120
4 /	課題2 グループワーク課題2 童謡(歌唱) 音楽あそび ピアノ実技	柚木 松井 奥戸 寺西	演習 グループによるピアノレッス ン	授業の復習と予習	120
5 /	課題3 グループワーク課題3 童謡(歌唱) 音楽あそび ピアノ実技	柚木 松井 奥戸 寺西	演習 グループによるピアノレッス ン	授業の復習とまとめ	120
6 /	音楽あそびについて まとめ	柚木 松井 奥戸 寺西	講義、演習、発表	授業の復習とまとめ	120
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ビジネス入門	小山内幸治(専任)・沖山 圭子(専任) 堀池喜八郎(専任)・江見 和明(専任) 若生真理子(専任)・中村 吉弘(専任)	1年次	前期集中	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Business							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ビジネスに関する基礎知識を身につける。 ・企業経営の仕組み、IT（情報技術）、ビジネスマナー、ホスピタリティ・マインドについて理解できるようになる。 ・医療とホスピタリティ、医療の基礎について理解し、医療ビジネスへの関心をもつ。							
授業の内容 企業や医療の現場で勤務した経験をもつ教員が担当する。 本講義は、大きく分けて企業経営の基礎と、医療事務の基礎という2つの内容を柱にしている。 初学者でも理解しやすいように、具体的な事例を多く取り上げる。 授業では様々なテーマでグループディスカッションを行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受け身の姿勢ではなく、自分から積極的に講義に参加する姿勢を大切にしてください。 自分の意見を自信をもって言うこと、他の人の発言をじっくり聞くことができるようになりましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の講義の中での皆さんの発言や発表に対して、必要に応じてフィードバックを行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	毎回の講義での感想文の内容を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osana@sumire.ac.jp (小山内) m-wakou@sumire.ac.jp (若生) yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村) k-horike@sumire.ac.jp (堀池) k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山) k-emi@sumire.ac.jp (江見)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	企業経営の仕組み	江見	講義	講義内容をまとめる	60
2 /	ITとビジネス	小山内	講義	講義内容をまとめる	60
3 /	ビジネスマナーの心	若生	講義	講義内容をまとめる	60
4 /	お客様を感動させるビジネス	中村	講義	講義内容をまとめる	60
5 /	医療機関とホスピタリティ	沖山	講義	講義内容をまとめる	60
6 /	診療報酬とレセプト	沖山	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	医療の言葉	堀池	講義	講義内容をまとめる	60
8 /	からだのしくみ	堀池	講義	講義内容をまとめる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					